

創造性教育の研究について

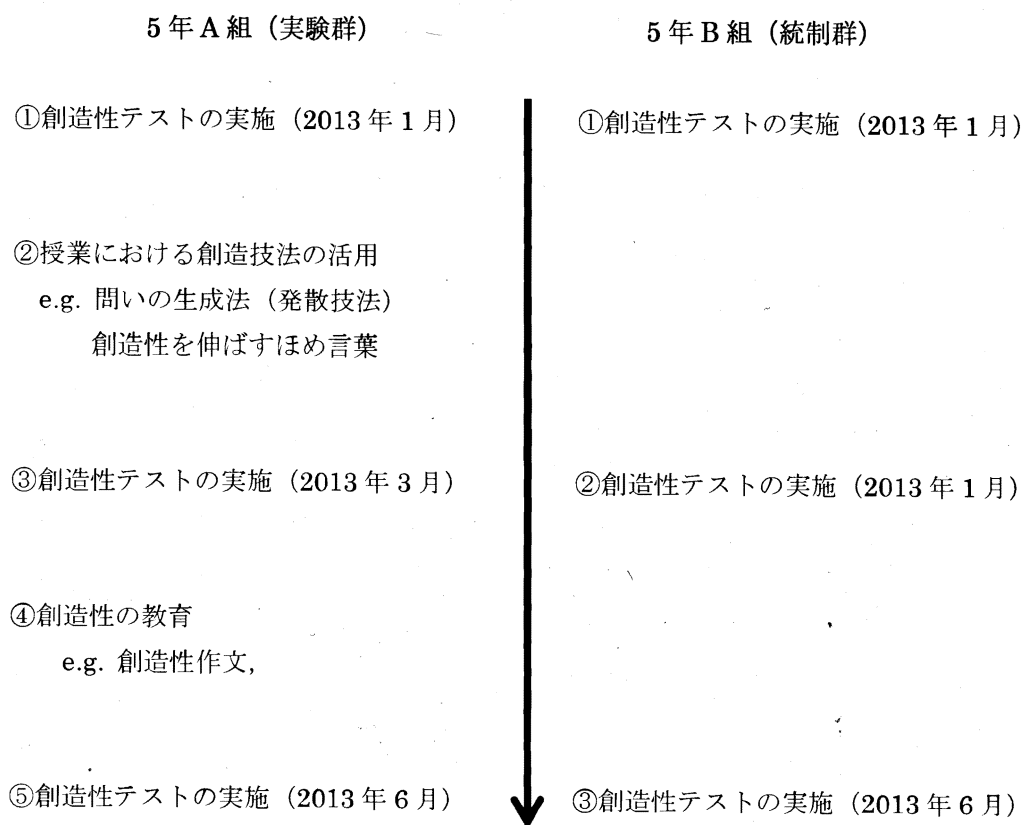
■研究の目的：

創造性の手法（創造技法）を普通の授業で用いることで、子どもたちの創造性がどのように変容するかを明らかにする

■研究の対象：

千葉県松戸市内の小学校5年生2クラス

■研究の方法・計画：



※上記の創造性テストの比較を考察し，学会発表，論文の投稿を行う。

■本研究の新規性：

本研究の新規性は以下の2点である。

- ① 半年という中期的な視点で小学生の創造性の変容を考察している点
- ② 普通の授業において創造技法を取り入れている点